

シニア大学伊那学部 42 期生実技講座作品展開催

11月22日（金）から、伊那学部42期生は辰野町荒神山湯にいくセンターにて実技講座作品展を開催しています。例年伊那市のいなっせを会場に1日のみの開催でしたが（今年度は11月21日（木）に開催）、同センターのご協力により12月12日（木）までの3週間開催することになりました。

書道、水墨画、短歌、俳句、ちぎり絵、絵手紙、写真の7講座から選択、2年間専門の講師から技術を学び、仕上げた作品100点余りを展示しています。

22日午後には同会場にてオープニングセレモニーを開催、主催者を代表して長野県長寿社会開発センター理事長内山二郎氏より「毎年多くの方に入學頂いている辰野町での特別企画。この作品展が訪れる人々の心をより豊かにし、学びの場になれば」との挨拶に続き、後援を頂いた辰野町 武居保男町長よりお祝いの言葉を頂きました。



辰野町 武居保男町長



シニア大学伊那学部自治会長 小松由幸氏



長野県長寿社会開発センター理事長 内山二郎

武居町長の奥様も伊那学部 42期生として在學しており「登校日は奥様も笑顔で楽しそう、イキイキしている」とご家庭の様子をユーモア交えてご披露していただきました。

また、辰野町役場、同教育委員会から多くの関係者にご臨席いただき、セレモニーに花を添えていただきました。

最後に 42 期生を代表して自治会長の小松由幸氏が「2年間の研鑽の成果を見て欲しい。展示を機にシニア大学への関心が高まり、受講生が一人でも増えればと願う」とあいさつされました。

作品展は同センターにて12月12日まで無休で開催。午前7時より午後9時まで。作品鑑賞のみの入館は無料。

（社会活動推進員 浦野 俊男）